

請願第 9 号 有害性が認められている一部有機フッ素化合物 (PFAS) 汚染から小平市民の健康を守るために、早急な対策を求める意見書の提出について、生活者ネットワークとして賛成の討論をいたします。

PFOS PFOA (以下 PFOS 等) は自然界で分解されにくく、体内にも蓄積されることから、アメリカの免疫学調査では、がんや甲状腺疾患などの病気への関連が指摘されています。2020 年 1 月、多摩地域で水道水源から PFOS 等が検出された都の新聞報道があり、2023 年 1 月末には多摩地域の市民有志が血液検査を行い、全国平均の 2~3 倍も高いということがわかっています。

これまで、PFOS 等に関しては市議会でも 2021 年 6 月に議員提出議案 水道水に現井戸に有機フッ素化合物が流入した原因究明と情報開示を求める意見書が採択されたり、多くの議員が一般質問などで質問、提案、要望をしてきています。

現在は、国のエコチル調査では PFOS 等も調査項目になっていますが、対象者に東京都の住人はおらず、東京都も血液検査などは行っていません。

本請願は①国内外の最新の科学的知見を集め、PFOS 等に関して健康に影響が出ることが考えられる血中濃度の基準値を早急に決定し、国民に情報発信に努めること ②現時点で必要と考えられる健康調査を実施し、データを蓄積すること を国と東京都に求めるよう市議会から意見書を提出することを求めた請願です。

市民の健康を守るために早急な対策が必要と考え賛成するものです。

以上を申し述べ賛成の討論といたします。

議員提出議案第 14 号 有害性が認められている一部有機フッ素化合物(PFAS)汚染から小平市民の健康を守るために、早急な対策を求める意見書提出について
生活者ネットワークとして賛成します。

本意見書は、3 月 15 日に環境建設委員会に付託された「請願第 6 号 有機フッ素化合物 (PFAS)汚染から小平市民の健康を守るために、早急な対策を求める意見書提出について」を長時間審査したのち、より多くの合意、賛同のために再度提出された「請願第 9 号有害性が認められている一部有機フッ素化合物(PFAS)汚染から小平市民の健康を守るために、早急な対策を求める意見書提出について」が 6 月 14 日の環境建設委員会で審査され、賛成多数となり意見書案として提出したもので、生活者ネットワークとして、市議会として提出する必要があるとの判断から賛成するものです。